



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2020年
5月号
(第46号)

今月のことば

「リーダーのスピードが、部下のスピードとなる」
 (女性起業家メアリー・ケイ・アッシュ。新型コロナウイルス対策の渦中で：石川良一選)

2019~2020年度 主題

クラブ会長 深尾香子「等身大を究めよう」

東新部部長 小川圭一(東京世田谷) 「心を尽くして、YMCAのために。」

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革、愛ある行動！」

アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ)「Action!!」

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア)「より良い明日のために今日を築く」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 真藤広子/伊藤幾夫 直前会長 石田孝次
 書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ: EF, JEF

「EF (Endowment Fund) は国際ワイズ発展のための特別基金、JEF (Japan East Y's Men's Fund) は東日本区ワイズ基金のこと」

5月例会、第2例会「中止」

皆さま、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言延長の中でお変わりありませんか。先月に続いて5月も、例会等止む無く中止致します。

さて、残すところ2か月となった今年度ですが、幸いにも台風19号・15号被災地支援日本YMCA同盟ポジティブネット募金へ寄付が出来たことは、大きな一歩となりました。遑って、仙台アジア太平洋地域大会への参加、初の合同例会、地域の行事への参加、ぽんぽこ農園の成果、ユースリーダーとの交流も皆さまのアイデアが核となり、近隣のクラブや団体の助けも借りて達成出来ました。今後、事態収束の際には、一層私たちが活動へ、設立年度に掲げた2本柱「子ども」、「高齢者」を意識して個性が光るクラブを目指して、新たな仲間にも出会いたいと思います。

皆さまどうぞお元気でお過ごしください。

会長：深尾香子

「只今、新美術館の開館準備中」



新型コロナウイルスにより日本全体が動けない状況の中ですが、3年がかりで携わってきた新美術館開館に向けての準備は最終段階となり、残課題をひとつずつクリアする日々です。そこで簡単に新しい美術館を紹介いたします。名前は「たましん美術館」、場所は立川駅の北側に開発された街区「グリーンズプリングス」の中に建築された「多摩信用金庫本店」の1階です。小規模の美術館ですが、レベルの高い設備により外部からの作品借用が可能な本格的な美術館といえます。展覧会の内容は、近代日本の洋画や東洋古陶磁、多摩の作家作品を中心としたオーソドックスな企画を行う予定です。アクセスの良い場所ですので、皆さまぜひお越し下さい。ところで、ここ何週かに渡ってTBSで「JIN-仁」というドラマが再放送されており、その中で感動的な言葉が再三語られていたのでお伝えします。それは「神様は乗り越えられない試練は与えない」というフレーズです。原典は聖書のようなのですが、私自身には今回の仕事を乗り切るために与えられた言葉だと思いました。そしてまた世界中が苦しんでいるコロナ禍も忍耐と人智によりいつか乗り越える日が来るとの希望のメッセージであるように感じます。
 (綿引康司)

5月のHappy Birthday / Happy Anniversary

《誕生日》石川良一(8日)

《結婚記念日》綿引康司・美代子(17日)

田中博之・直美(24日)

4月例会	在籍14名 (内広義会員2名) 4月例会は中止	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			名	名	切手	0g(今年度累計 894g)	オークション	0円
			メーキャップ	名	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計 8,000円)	
			出席率	%	ぽんぽこファンド	0円	スマイル	0円
			メネット	名	(今年度累計35,046円)		(今年度累計 38,351円)	
			ゲスト・ビジター	名				

ウェブ例会を試行しました

4月に引き続き、5月例会、第2例会は中止となってしまいましたが、現在の情勢を考慮すると、6月以降も集合して開催することは難しいため、代替手段としてパソコンやスマホのアプリ「ZOOM」を使用したウェブでの例会を開催しようと、まずは、メンバーの皆さまに体験していただくために、接続テストを企画・実施しました。

<内容>

ウェブ会議システム「ZOOM」の基本的な操作説明と参加者の近況報告

<日程および参加者> ※同一の内容を計3回実施・重複参加あり。

1回目 5/5(火) 18時.....7名

2回目 5/6(水) 10時.....4名

3回目 5/6(水) 18時.....7名

テスト実施にあたり、私自身も初めてZOOMに触りましたが、思ったよりも簡単にウェブ会議を開催できました。会議中の操作も慣れると容易で、特に参加者全員が同じ資料を参照できる「画面の共有」機能の使い勝手の良さを実感しました。ウェブ会議に慣れたメンバーのフォローもあり、スムーズに進行できたことから、ウェブ例会は充分可能と考えます。6月第2例会辺りからの実現を検討していますが、日程調整や事前のルール決めが必要なため、メンバーと協力して準備を進めていこうと思います。試行に参加いただけなかった皆さまには個別にフォローさせていただきます。(小早川記)

会員近況コーナー

このコーナーでは、都から「外出自粛要請」が出され、当クラブの例会も3月から中止が続いている折、会員の皆さまがどのように過ごされているのかを誌面を通して交流したいと思います。今後の投稿もお待ちしております。

*

安藤慎次 4月中旬頃から、通勤時にコロナに感染すると、同一フロアの社員も自宅待機となり大変、という意味から、私は、会社の近くに、ホテルを確保していただき、月曜日から、金曜日まで、ホテル住まいで、土日は、家にいます。コールセンターは、在宅勤務が難しい職種で、会社での対応が主となります。商品として、体温計も扱っていますが、コロナが、流行りだしてから、現在どこの薬局に行っても、在庫がなく、欠品状態が続いているため、その苦情と、1日中ひっきりなしのお電話で、全然つながらないとの苦情に、日々忙殺される日々を送っています。製造は、通常の数倍以上の数量を供給しておりますが、お客様のご要望の数量には、追いついていけない状況で、このような日々は、コロナが落ち着くまでは続くものと思っています。

石川良一

新型コロナウイルス発生が報じられた1月、都議会では災害の一種と捉え、「新型コロナウイルスに関する災害対策連絡調整本部」を立ち上げました。議長である私、石川を本部長に、各会派の幹事長を本部員とする組織で、小池知事の都行政の対応をチェックし、提言もする活動を続け、すでに9回の本部会議を開いてきました。また協力金など、必要な予算を決定するための都議会臨時会も開催しました。今は5月27日から都議会定例会の準備中です。個人的には運動不足が怖いので近くの公園で、週3回200段の階段10往復は欠かさず行っています。

石田孝次

自らの身を守ることは当然としても、無責任な行動が、この得体の知れぬ病魔と最前線で闘っている医療従事者を危険に陥れることは有ってはならぬという認識を持つことが重要で、そのために緊急事態宣言が出され、不用意な行動を制することで感染拡大を抑え込もうと国を挙げて必死で取り組んでいるのだから。さはさりながら、stay homeで鬱積するストレスの解消策は、不可欠である。私の場合は、早朝ウォーキングである。早朝5時15分過ぎにスタートし5~6km、小1時間かけて汗だくになって戻ってくる。この時間だと、3密を意識することもなく、行きかう人はほとんどいない。新鮮な空気に触れ、心身ともに浄化される。また、目に入る景色や鳥の鳴き声など、心地よい空間に浸ることができる。これが、五感に刺激を与え、心身の健康を増進させる特効薬となっているからだ。

伊藤幾夫

東京都から「外出自粛要請」が出されてからは、「3密」を避けています。家では、この時とばかり「断捨離」をしています。マスクが品切れとなっているので、自分で作りました。家の近くに里山があり、また、4月17日に「薬師池・四季彩の杜」がオープンしたので、どちらもよく出かけます。運動不足とならないように気を付けています。

井上富子

4月30日木曜日午後2時から石田さん、佐々木さんと3人で、ぼんぼこ農園の玉ねぎ収穫作業をしました。収穫した玉ねぎをそれぞれが近いメンバーのお宅に届けるということで、私は伊藤さんにお届けしました。よいお天気で新緑がまぶしく、気持ち良い汗を流しました。「つながりマスク」も9枚作りお届けしました。

小野実

4月にほんご学院から医療福祉専門学校へ異動しましたが、学校内での授業は行わず、オンラインや自宅での課題を中心とした授業形態となり、学生と会えたのは一日だけでした。仕事も在宅勤務になると思いきや、初めてのオンライン授業、課題の印刷と郵送など、学校での仕事が多く、ほぼ毎日通勤している状況です。それでもできるだけ出勤者の人数を減らし、校内の消毒清掃、通勤も公共交通機関を使わないなど感染防止に努めています。

小早川浩彦 私の会社では、国の緊急事態宣言を踏まえて社員を分割し、1日交代の在宅勤務を行っています。同僚や上司とはメール等で連絡がとれるものの、直接顔を合わせられない不便さを実感しています。

真藤広子 神様からの、傲りを捨て謙虚になれ、と言う怒りのメッセージと捉えている。世界中の人に平等に与えられた試練を、前向きに過ごすべく所用で外出時にはゲーム感覚で、前から来る人を避ける歩き方をしたり、仲間と如何に買い物をせずにご飯を作るか、出来上がりの写真をアップして刺激し合ったりしている。



滝口恵子 都立特別支援学校のスクールバスの添乗員の仕事をしている私は、3月から春休みまで学校が休校と知らされて、仕事がなくなってしまうと心配しました。しかし、学校がお休みでも仕事を休めない保護者はいるため、そういうご家庭のお子さんはお預かりしています。結果、乗車人数は一桁で、0人ということもありますが、毎日バスは運行し、お休みになった日はありません。緊急事態宣言が発令され、新学期が始まって同じ状況です。卒業式が、先生と生徒のみで実施され、入学式はいまだに延期になっています。学校を異動される先生方は、子供たちにお別れを言うことも出来なかったと悲しんでいました。連休明けもまた、医療従事者・警察官等お休みが出来ない保護者のお子さん達を乗せて、スクールバスは走ります。

田中博之 私が関わっているワイズ、YMCA の活動では、すっかりテレビ会議が定着し、特に海外のワイズとは、気軽に、頻繁に会合を開けるので、いつもより緊密な情報交換、連携が図られています。テレビ会議は、新型コロナウイルス終息後もメインのコミュニケーションツールとして活用されていくと思います。生活面では、バルコニー菜園にいそしんでいます。ハウレンソウ、菊菜、サンチュ、葱は、こしばらく買わずに済んでいます。これからはトマト、ジャガイモ、蕪、胡瓜が楽しみです。朝顔とコスモスも本葉が出てきました。孫たちに会えないのが辛いですが、動画のやりとり、LINEのビデオ通話で何とかがまんしています。

深尾香子 外出自粛の中で、私自身のケガ後の通院を続けつつ、父の介護と、母の帰宅（リハビリを終えて）を前に断捨離に通っています。茶道の仕事は元々稽古が無い日でも、道具の保守点検が通常業務。むしろ普段行き届かない事に着手して助かっています。こんな中で、クラブの2本柱の1つ「高齢者支援」にアイデアが！皆さん（特に男性メンバー）、お料理や、片付け出来ますか？我が父の世代



は母になんでもやってもらえたからでしょう、家事について全く関心がありません。コロナショックで最悪の場合、介護現場も崩壊してヘルパーさんが来られませんよ。新年度は、若くて可愛い講師を頼んで、ロス食材を考えるついでに、着手できたらいいなあ。

藤田 智 4月7日に緊急事態宣言が出て、ひと月が経ちましたが、私の勤務先は入学式がなくなり、オリエンテーションも授業も行われなくなりました。その間の連絡といえば ZOOM ミーティングのみで、しかも、1日に3回も4回もあるわけで、慣れるまでは大変でした。それでも、5月11日からオンラインでの授業が開始されることから、その準備に追われています。いつもの対面式の授業とは違う何か新しいことを見つけ、学生たちに伝えたいと思います。家庭では、家内の手料理を3食食べるということが増えました。外食もテイクアウトばかりとなり、これまでの生活とは異なりますが、今は今で楽しいかなとも思っているところです。

峰岸幸枝 祈り：「あなたに与えられた生涯を感謝いたします。罪やあやまちを悔い、今ある課題もあなたにゆだねます。み国に至るまでの残された日々を、あなたとともに歩ませてください。」
日々の行動が出来なくなって2か月以上が過ぎ、家に留まることを余儀なくされました。ボランティア活動として、与えられた介護予防リーダーという役割、地域の高齢の人達と集まり、いつまでも元気でいられる様にと、室内で楽しく簡単な体操をしたり、歌を歌ったりしていました。道でその人達とすれちがうと、お互いマスクですが、笑顔で挨拶します。公園での朝のラジオ体操で会えるのが、今の楽しいひとときです。

綿引康司 巻頭言にも書かせていただきましたが、新美術館の開館に向けて準備を進めています。よってほぼ通常通りの出勤をし、また週1度の在宅勤務も自宅で資料の作成・整理を行うといった状況です。残念ながら、緊急事態宣言の解除が見通せず、新美術館も予定通りの開館が難しいと思われませんが、5月18日の開館日を迎えるための準備は遺漏なく進めておけばどのような状況にも対応できるとの認識に立って頑張っています。

「つながりマスク」東京 YMCA に寄贈

「つながりマスク」へのご協力、ありがとうございます。皆さんから送っていただいた手作りの布マスクの第1便31枚を、5月8日（金）、東京 YMCA 医療福祉専門学校（担当主事の小野さんが4月から校長を務めています。）に寄贈いたしました。検品、洗浄、次亜塩素酸水で殺菌後、1枚ずつ個包装の滅菌ガーゼとともにジップロックに入れ、不織布マスク、雑

巾と併せて寄贈しました。
近隣のクラブにも呼びかけたところ、東京八王子クラブの小口さんにも大量にお送りいただきました。マスクはまだ受付けています。田中さんのご自宅まで郵送してください。(深尾記)

＜小野さんからのお礼のメッセージ＞

本日、東京多摩みなみワイズメンズクラブのみなさんが作られた「つながりマスク」の寄附を受けました。現在、遠隔（オンライン）授業が中心で学生の来校は少ないのですが、来校者に向けてマスクとメッセージを伝えていきたいと思っております。ありがとうございました。



第1便



殺菌後の乾燥



マスクセット



医療福祉専門学校職員のみなさん

ぽんぽこ農園だより

4月15日(水)に藤田先生の指導の下、玉ねぎ、ニンニクの追肥作業と里芋の作付け作業を行いました。井上さんと助っ人の佐々木さんが駆けつけてくれました。その時、翌週中にジャガイモの間引きと追肥作業をすることにしました。天気の間隔予報を見て4月24日(金)にジャガイモの間引き作業を予定しました。しかし、予報の急変と農園作業といえども3密とは無縁ではないので、佐々木さんが、みんなが集まって作業をするのは好ましくないとの思いから万一のことを考えて、前日の23日に雨が降る前に1人でジャガイモの間引き作業と追肥作業をやってくれていました。従って、24日に参加予定だった井上さん、峰岸さんには事情を伝え、自宅待機と相成りました。玉ねぎの内、早生品種のタイガージェットは、茎が枯れ、これ以上光合成による成長が期待できないとして急遽、4月30日に佐々木さん、井上さん、石田の3人で収穫作業を行いました。成長具合は、初めての早生品種だったので残念ながら良好とは言えず、大

小様々合わせて110個の玉ねぎを収穫できました。この玉ねぎを食に困っている人に寄贈するという声もありましたが、初物であり、コロナ禍でも農園活動は続いていることをご認識いただく意味もあり、メンバー全員に届けることになりました。来月には残りのターボ品種の玉ねぎ、夏にはニンニクとジャガイモの収穫が期待されます。ニンニクは、初めての栽培、ジャガイモは、間引き後の生育が順調で作柄は大いに期待できそうです。今度こそリベンジです！(石田記)



YMCA ニュース

担当主事 小野 実

◆新型コロナウイルス感染拡大による、イベントやプログラムの中止、センターの休館が延長されています。
東京 YMCA グループ専門学校やインターナショナルスクール、にほんご学院では遠隔（オンライン）による授業が進められています。
今後の予定についても状況により中止、もしくは開催内容が変更になる可能性があります。ホームページなどで最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。

＜医療福祉専門学校より＞

東京 YMCA では、公益財団法人による国際ホテル専門学校（高田馬場）と社会体育・保育専門学校（東陽町）、学校法人による医療福祉専門学校（国立）の3校の専門学校を運営しており、3校合わせて500名を超える学生が在籍しています。
その中の医療福祉専門学校は、介護福祉士を目指す介護福祉科（2年）と作業療法士を目指す作業療法学科（3年）の2つの学科があり、在籍生は、125名と小規模ながら、そのうち留学生が1/3の比率を占めていて、学校全体できめ細かい指導を行っています。それというのも、両学科とも国家試験への合格が必要な仕事であり、特に留学生にとって国家試験の結果は日本滞在の可否につながる重要な要素となるからです。
学内の授業、学内外の演習・実習、国家試験対策と、在籍中は大変忙しい学生生活を送っていますが、インターナショナルチャリティーランや国際協力一斉街頭募金など、東京 YMCA のイベントなどへも積極的に参加してもらいたいと考えています。

連絡先：〒206-0824 稲城市若葉台 4-33-3-203 小早川浩彦（携帯）090-9347-7906

例会日：本例会 第1火曜日 18:30~20:30 会場：ベルブ永山 多摩市永山 1-5 TEL 042-337-6111

第2例会（役員会）第2月曜日 19:00~21:00 会場：ベルブ永山

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ